

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成 30 年2月解析分)

1 今月のトピックス

(1) 医療機関の皆様へ ～平成30年1月1日から「風しん」と「百日咳」の届出方法が変更になりました～

「風しん」について

【変更の目的】 風しん発生時に迅速な対応を行い、平成32年度までに風しんの排除状態を達成するため

【変更内容】

- 診断後、届出までの期間を、「7日以内」から「直ちに」に変更
- 届出内容に、「患者氏名、住所等」を追加

「百日咳」について

【変更の目的】 成人を含む百日咳患者の発生動向を適時かつ正確に把握し、速やかな対応を行うため

【変更内容】

- 届出が必要な医療機関を、「小児科定点医療機関」から「全ての医療機関」に変更
- 届出の要件を、「臨床症状のみ」から「臨床症状かつ検査所見」に変更
(ただし、検査確定例と接触がある者については、必ずしも検査所見を必要としない)

※ 変更後の「届出基準」及び「届出様式」については、厚生労働省のホームページを御覧ください。

(2) 子ども予防接種週間について

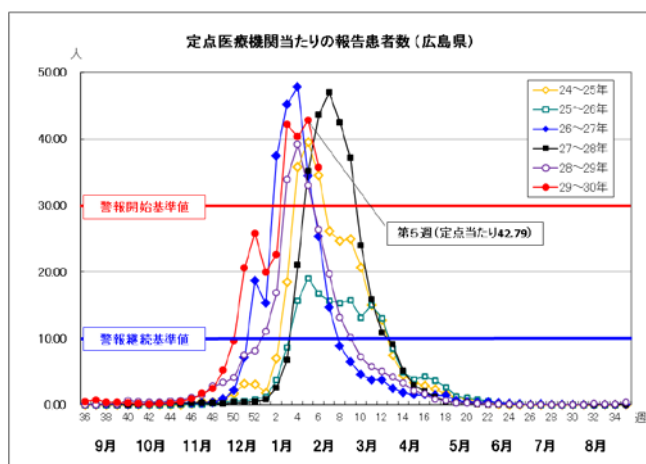
平成30年3月1日(木)から3月7日(水)は子ども予防接種週間です。
4月からの入園・入学に備え、必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう！

- 予防接種に関する質問は、かかりつけ医に御相談ください。
- 予防接種が受けられる医療機関については、お住まいの市町の予防接種担当課へお問合せください。
- 予防接種を希望される方は、医療機関へ事前に予約しましょう。

(3) インフルエンザの流行状況について

今シーズンのインフルエンザの定点医療機関(115医療機関)からの報告患者数は、平成30年第5週(1月29日～2月4日)の定点当たり42.79をピークに、減少傾向に転じましたが、依然として警報継続基準(定点当たり10)は上回っています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も発生が続いており、県内の流行はしばらく継続するものと考えられます。引き続き、「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防・感染拡大防止対策の徹底をお願いします。

警報発令中



インフルエンザ 流行 広島

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成30年1月分(平成30年1月1日～平成30年2月4日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	19,274	33.58	20.14	↑	10	ヘルパンギーナ	6	0.02	0.02	↓
2	RSウイルス感染症	127	0.35	0.71	↘	11	流行性耳下腺炎	29	0.08	0.45	↘
3	咽頭結膜熱	129	0.36	0.52	↘	12	急性出血性結膜炎	2	0.02	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	698	1.94	1.60	↘	13	流行性角結膜炎	59	0.62	0.75	↘
5	感染性胃腸炎	2,247	6.26	8.37	↘	14	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.01	
6	水痘	103	0.29	0.80	↘	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	52	0.14	0.15	↓	16	マイコプラズマ肺炎	9	0.09	0.25	↘
8	伝染性紅斑	9	0.03	0.30		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	89	0.25	0.37	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	20	0.19	—	↑

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成30年1月分(1月1日～1月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	35	1.59	2.22	↘	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	69	3.29	4.30	↘
20	性器ヘルペスウイルス感染症	12	0.55	0.90	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	8	0.38	0.37	
21	尖圭コンジローマ	18	0.82	0.63	↑	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.05	
22	淋菌感染症	10	0.45	0.96	→						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

※百日咳は平成30年1月1日より全数報告に変更になりました。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 インフルエンザ (15.28 → 33.58)
 感染性胃腸炎(ロタウイルス) (0.06 → 0.19)
 尖圭コンジローマ (0.18 → 0.82)

○急減疾患 手足口病 (0.47 → 0.14)
 ヘルパンギーナ (0.05 → 0.02)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について、県内177の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	22	21	177

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	35	結核(35)〔西部保健所(4),西部東保健所(2),東部保健所(6),北部保健所(2),広島市保健所(10),呉市保健所(3),福山市保健所(8)〕
三類	2	細菌性赤痢(1)〔福山市保健所(1)〕, 腸管出血性大腸菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕
四類	2	つつが虫病(1)〔広島市保健所(1)〕, レジオネラ症(1)〔福山市保健所(1)〕
五類全数	30	ウイルス性肝炎(E型,A型除く)(1)〔広島市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)〔東部保健所(1)〕, 急性脳炎(8)〔東部保健所(1),広島市保健所(2),呉市保健所(2),福山市保健所(3)〕, 後天性免疫不全症候群(2)〔西部保健所(1),東部保健所(1)〕, 侵襲性インフルエンザ球菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕, 梅毒(13)〔東部保健所(1),広島市保健所(9),呉市保健所(1),福山市保健所(2)〕, 百日咳(3)〔西部東保健所(1),広島市保健所(1),呉市保健所(1)〕